名古屋学院大学論集　言語・文化篇　第31巻　第2号　pp. 15–47

〔論文〕

犯罪・ミステリー映画の日中比較　(1)

近　藤　　　泉

名古屋学院大学国際文化学部

要　旨

本論文においては，犯罪映画・ミステリー映画について，日本と中国の作品の比較を行う。このテーマについては，日中いずれにおいても，まだ先行研究が存在しない。調査するのは2010年～2018年の9年間の作品とし，日本・中国とも各年度の興行収入ランキング上位の計約40本の作品を調査対象とし，日中計80本ほどのすべての作品について，「探偵が登場する」「犯人の善良な面を描いている」「警察組織の問題点に触れている」など58の項目について一つ一つチェックし，該当するものには○，該当しないものには×，といったように印をつけ，表を作成する。日本と中国の表を比較することにより，できるかぎり客観的に日中の作品の比較を行う。ページ数上の都合により，論文は3回ほどに分けて発表する予定であり，1回目の今回は，中国に関する部分を掲載する。これにより，日中の映画の比較ができることはもとより，両国の社会や人々の意識の違いをも見て取ることができるものともなるはずである。

キーワード：日中比較，犯罪映画，ミステリー，映画

A comparison of Japanese and Chinese crime and mystery films（1）

Izumi KONDO

Faculty of Intercultural Studies
Nagoya Gakuin University

発行日　2020年3月31日

1. はじめに

中国では近年，日本のミステリー作家・東野圭吾の小説が海外の作家としては最も人気のある作家であり[1)]，その作品は中国でも映像化されている。ところで，映画作品において，犯罪もの・ミステリーものは，日本と中国とでどこが違うのだろうか。このテーマについての研究（論文・書籍など）は，日本にも中国にも存在しない。本論文においては，中国と日本の犯罪・ミステリー・推理関連の映画をできるかぎり客観的に比較し，その特徴の違いを明らかにしたい。これによって，日中の映画の比較ができる（もちろん，ドラマや小説など近接する領域の違いも分かるはずである。）ことはもとより，両国の社会や人々の意識の違いをも見て取ることができるはずである。

扱う映画は，客観的に明確にその範囲を設定するため，ジャンルとしては，とりあえず，犯罪に関わる映画すべてとしたい。2010年から2018年までの9年間に公開された映画を扱い，この期間における日中の映画の比較を行いたい。

なお，本論文でいう中国映画は，大陸の映画に限定する。香港映画に警官・警察や犯罪組織などが登場する映画は多いが，大陸の映画との間に特徴の違いが大きく見られるため，大陸と香港とを分けて考える必要があると考え，本論文においては，とりあえず大陸の映画に限定して日本映画と比較したい。なお，例えば，大陸と香港の合作，中国と外国の合作などの場合には，とりあえず監督が中国（大陸）の監督である場合のみに中国（大陸）の作品であるとし，本論文において扱うことにする。

2. 本論

1　表の作成について

本論文では，中国の37本の犯罪関連映画，日本の43本の犯罪関連映画について表を作成し，すべての作品について，「探偵が登場する」「警官が無能ではない」「犯人の善良な面をも十分描いている」「犯人が主人公である」など58の項目について一つ一つチェックし，該当するものには○，該当しないものには×，その中間でどちらともいいにくいものには△，その特徴を非常に強く持っているものには◎，というように印をつけた。

中国映画は，中国（内地）における2010年から2018年にかけての毎年度の興行収入ランキングの上位100位まで[2)]（内地以外の中国の作品や外国の作品をも含むランキング）に入った犯罪関連映画計37本を扱い，日本映画は，日本における2010年から2018年にかけての毎年度の興行成績ランキング上位30位まで[3)]（外国の作品を含むランキング）に入った犯罪関連映画計43本を扱う。

作成された中国映画の表と日本映画の表とを対照し，双方を比較すれば，ある程度の客観性をもって，中国映画と日本映画の違いを明らかにできるはずである。ただし，表において○にすべきか×にすべきかなど判断が難しいものも少なくなく，記入する印を何にするかにある程度主観が入らざるを得ないものもある。したがって，作成する表は，絶対的に客観的に正しいものと

いうものではなく，あらましの目安である。

まず，各映画についてチェックする58の項目は以下の通りとする。

1 探偵が登場する。

2 探偵が登場する。自国を舞台とする作に限定。

3 探偵ないし探偵的な役割を果たす人物（警官以外）が登場する。

4 探偵ないし探偵的な役割を果たす人物（警官以外）が登場する。自国を舞台とする作に限定。

5 名探偵ないし名探偵的な役柄の人物の引き立て役となる無能な警官が登場する。

6 名探偵ないし名探偵的な役柄の人物の引き立て役となる無能な警官が登場する。自国を舞台とする作に限定。

7 プロの探偵が華麗に推理する。

8 プロの探偵が華麗に推理する。自国を舞台とする作に限定。

9 警官が無能と言うわけではない，ないし頭脳明晰。（警官がそもそも，ほとんどないし全く登場しない場合は△。）

10 警官が無能と言うわけではない，ないし頭脳明晰。自国を舞台とする作に限定。（警官がそもそも，ほとんどないし全く登場しない場合は△。）

11 推理・謎解きが重要な要素の本格推理。

12 視聴者は最初から犯人を知っている。

13 探偵•探偵役の人物ないし警察官が，皆の前で推理した内容を披露する。（推理内容が正しい，ないしほとんど正しい場合は◎。間違った推理が披露された場合も，正しい推理内容を推理する場面が後にあれば◎。）

14 警察官が主人公であったり警察組織を描くなどの警察もの。

15 警察官が犯人である。（警察官以外も犯人である場合を含む。）

16 警察組織の問題点に触れている。

17 警察と犯罪組織の対立，ないし警察による犯罪組織摘発をメインに描いている。

18 犯人を追い詰める警官や探偵などの心の苦しみをも描く。

19 犯人の善良な面をも十分描いている。

20 犯人の苦しみをも十分描いている。

21 犯罪者の内面に目を向け，犯罪に至らざるを得なかった過程を十分に描いている。

22 犯人が主人公。（犯人の立場から描く。）

23 他人を庇って自分が犯人だと自首する人物がいる。

24 社会性のある題材を扱い，犯罪が起きた社会的背景をもしっかり描いている。

25 犯人に意外性がある。

26 犯罪方法やトリックに意外性がある。

27 凶器に意外性がある。

28 意外性が，犯人が誰であるかや，犯罪方法のトリックや特殊性以外にある。

29 犯罪が残虐，ないし猟奇的。サイコ性がある。

30 不気味，ないしホラー性がある。

31 連続殺人事件

32 密室殺人事件

33 科学的鑑定の場面がある。（プロファイラー以外）

34 プロファイラーが登場。

35 犯人が精神障害。

36 快楽殺人・犯罪（殺人未遂を含む。）

37 ゲーム的殺人・犯罪や，劇場型の殺人・犯罪（殺人未遂を含む。）

38 怨恨や復讐のための殺人・犯罪（殺人未遂を含む。）

39 他人への妬みないし社会的疎外感による殺人・犯罪（殺人未遂を含む。）

40 男女間の愛のもつれにより相手に行う殺人や犯罪（殺人未遂を含む。）

41 金銭ないし地位目当ての殺人・犯罪（殺人未遂を含む）。

42 口封じのための殺人・犯罪（殺人未遂を含む）。（自分の犯罪以外について他人に知られないための口封じをも含む。）

43 自分自身の欲望のためではなく，社会をよくする，ないし悪くしないためと考えての殺人・犯罪

44 自分自身の欲望のためではなく，自分以外の誰かのための殺人・犯罪（復讐は含めない。）

45 誘拐や監禁

46 麻薬の売買

47 企業・ビジネスがらみの犯罪

48 テロリストによるテロ

49 犯罪動機にオリジナル性

50 他殺はなかった。（自殺，事故，未遂，その他のみ）

51 毒物の知識など実際の犯罪に役立てられそうな情報が入っている。

52 アクションが重要な要素として存在。

53 法廷推理もの

54 スパイもの（警察による潜入捜査は含まない。）

55 警官による潜入捜査がある。

56 トラベルミステリ。観光地・景勝地での旅情もの

57 時刻表もの

58 コメディ性がある。

原稿枚数の制限のため，今回発表する『犯罪・ミステリー映画の日中比較（1)』においては，とりあえず中国映画の状況のみについて明らかにしたい。

2.1　中国映画

まず，中国（大陸）における2010年から2018年にかけての毎年度の興行成績ランキングの上位100位まで（内地以外の作品，外国の作品をも含むランキング）に入った犯罪関連映画計37本について上記58項目をチェックする表を作成し，以下に記載する。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲
年度	2018					2017						2016				2015					2014		2013		2012				2011					2010			
中国(大陸)年度興行収入ランキングベスト100中，中国(大陸)制作作品（中国［大陸］以外との合作の場合，中国［大陸］の監督の制作によるものに限る。)の本数	32					37						30				40					40		23		25				33					30			
順位	二	四〇	四二	九八	九九	四四	五〇	五二	五九	六〇	七九	四〇	六七	九四	九七	一一	一三	四五	五九	八九	六七	九二	二七	三七	四三	六八	八三	九八	三八	七六	九四	九七	九八	三二	四六	六二	八〇
映画名	唐人街探案2	“大”人物	幕后玩家	江湖儿女	龙虾刑警	(机器之血:SF)	心理罪	记忆大师: SFでもある。	心理罪城市之光	(解忧杂货店:日本原作)	绑架者	火锅英雄	追凶者也	惊天大逆转	捉迷藏	老炮儿	唐人街探案	烈日灼心	解救吾先生	黑猫警长之翡翠之星:アニメ	白日焰火	笔仙惊魂3	无人区	全民目击	二次曝光	HOLD住爱	边境风云	笔仙惊魂	孤岛惊魂	硬汉2奉陪到底	密室之不可靠岸	床下有人	B区32号	西风烈	决战刹马镇	密室之不可告人	黑猫警长:アニメ
1	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	/	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○推理小説作家	×	×	×	×	○推理小説作家	×
4	/	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○同上	×	×	×	×	○同上	×
5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	/	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×?別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	△別記	×
8	/	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△同上	×	×	×	×	△同上	×
9	×	◎別記	△	△	○別記	○別記	◎	○?別記	◎	×	○	△	○?別記	○	○別記	△	×	○	◎(○)別記	◎別記	○?別記	△	△	/別記	○別記	△(○)	○	△(○)別記	△	◎	△	△	△	○	△	○	◎

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲
10	/	◎同上	△	△	○同上	/	◎	/	◎	×	○	△	○？同上	/韓国が舞台	○同上	△	/	○	○(◎)同上	◎同上	○同上	△	△	/同上	○同上	△(○)	○	△(○)別記	△	◎	△	△	△	○	△	○	◎
11	◎	×	×	×	×	×	△	○	△	×	×	×	×	△別記	×	×	◎	×	×	○	△	△	×	△	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×
12	×	○	×	×	△別記	○	×	×	×	○	×	△	×	×	×	○	×	△別記	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○
13	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	◎別記	×
14	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○別記	×	×	×	○	×、別記	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
15	×	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	○	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17	×	×別記	×	×	○	○	×	×	×	×	×(△)	×	×	×	×	×	×	×	○別記	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
18	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19	×	×別記	×	○	×	×別記	×	×(△)	×	◎	×	×(△)別記	×	×	×	×	×	◎	×別記	×	×	×	×別記	○別記	×(△)別記	×	○	×別記	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×
20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
21	×	×	×	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
22	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×(△)別記	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×別記	×	△別記	×	△	△別記	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×
23	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
24	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
25	◎	×	○	×	△別記	×	×	◎別記	×	×	○	×	△別記	◎別記	○	×	◎	△別記	×	×	×	△	×	○	△別記	×	×	×	○	×	◎	×	○	×	×	○別記	×
26	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	△	×
27	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×
28	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	△	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○別記	×	×	△別記	△別記	×	○別記	○別記	×	×	×	○別記	×	×	×	×
29	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
30	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎	◎	×	×	○	◎	×	×	○	×
31	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
32	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
33	○	×	×	×	×	×	○	×	△	×	×	×	△	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×	○	(△)
34	○	×	×	×	×	×	◎	×	◎	×	×	×	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲
35	×	×	×	×	×	×	○	×	△	×	×	×	×	○?別記	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
37	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
38	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×別記	×	○(?)	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×
39	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
40	×	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
41	×	×別記	○	×	○麻薬売買	△別記	×	×	×	×	○別記	○	○	○	○	○?	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○別記	○	×別記	×	○	×	×	×	○	○	×	○別記
42	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○別記	○未遂	×	○別記	○	×	×	×	×	○別記	×	×	×	○別記	×	×	×	×	○別記	×
43	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
44	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×別記	×	×	×	○別記	×	×	×	×	×	×	×
45	×	○別記	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×(○?)	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○
46	×	△別記	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
47	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
48	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
49	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
50	×	×別記	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○別記	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○
51	△別記	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△別記	×	×	×	×	×	△別記	×	×	△別記	△別記	×	×	×	×	×
52	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	△	○	×	×	×	○	△	×	○
53	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
54	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
55	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
56	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
57	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
58	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×(△)	×	×	×	×	○	×	×

上記の映画37作のうち，日本語版が出ているのは，『机器之血（ポリス・ストーリーREBORN）』『解忧杂货店（ナミヤ雑貨店の奇蹟—再生—）『白日焰火（薄氷の殺人）』の僅か3作品にとどまる。中国の犯罪関連映画を多く見ている日本人は多くいるとは思えず，それぞれの映画のあらましの内容を紹介する必要もあるかと思うので，以下に，37本の映画それぞれについて，そのあらましの内容，日中比較をテーマとする本論文において特筆すべき点，及び，表における

注記事項を記しておきたい。

① 唐人街探案2

ニューヨークが舞台。

第1作「唐人街探案1」同様，謎解き•推理を非常に重要な要素とする本格推理作品。第1作同様，非常に工夫して犯罪を設定している。

本格推理は，外国の推理小説の影響が大きいと思われる。87分目に主人公秦風は言う。「福尔摩斯说过，世上没有真正完美的犯罪。其实真相也一直就在我们眼前，只不过还没有被发现。所谓推理，不过就是把重要的细节放大。（ホームズは言った。「世の中に真に完全な犯罪など存在しない。実のところ，真相はずっと我々の眼前にあり，ただなだ発見させていないにすぎない。いわゆる推理とは，重要な細部を拡大することにすぎない」)」

終盤が近づくと，犯人は病院の医師と分かり，それで事件は解決する。

しかし，実は別により大物の犯人がいる。秦風のみがそれに気づく。

意外な人物（宋義）（もともと被疑者だったが，途中から全く潔白と思われた。）が真の悪人であり犯人。二つめの殺人からは，計画し設定したのは彼。陸国富を殺した犯人も彼。真犯人以外に別に完全犯罪の真の悪人・犯人がおり，秦風だけがそれに気づくというのは，第1作と同じパターン。

秦風はひらめいて推理する際，地面その他の場所に，取り付かれたようにすらすらと数式を書いていく。日本の東野圭吾原作・福山雅治主演のガリレオシリーズのまねであろう。

7:△　秦風は探偵として社会的に認められている。ただし，探偵を生業としているわけではない。
51：△　セボフルラン（全身吸入麻酔剤）が出てくる。

② “大”人物

一介の警官である孫大聖が，ある修理工の飛び降り自殺（未遂）事件を調査し，富裕で社会的地位は高いが自己中心的・暴力的で冷酷・傲慢な趙泰，およびその背後にある大企業の趙氏集団と対決。孫ら警察は，ブラックな趙氏集団による金銭的誘惑，圧力や警告，孫大聖の息子を誘拐までしての脅し，などのある中，趙泰ら趙氏集団の犯罪の証拠を探し，彼らを法で裁かせようとする。そして趙泰を逮捕するに至る。

警官や警察は，正義感があり，勇気があり，格闘能力もある（孫大聖は格闘でとにかく強い。一人でかなりの人数のやくざを倒すことができるほどである。他の警官，例えば女性警官高亜男などもとても強い。）頼もしい存在として描かれている。映画の半ばほどのところで，孫大聖の上司の局長は孫大聖らに，「おまえたち，光明路派出所の案件に関わってどうするのか。おまえたちと何の関係がある。……証拠もないのに趙氏集団をむやみに苦しめてどうするのか。趙氏集団の件は，これで終わりにする。私に面倒をかけるな」とは言う。しかしながら，局長も，後に，孫大聖ら部下たちに，「私たちの背後には国がある。おまえは何を恐れているんだ。今から，こ

の事件は，私がみずから責任を負う。明日から調査を始めろ。どんな手段を使おうと，相手の背後がだれであろうと，残らず捕まえろ，残らず！」と言う。自らが責任をもって，部下たちが趙泰ら強大な趙氏集団を捜査・逮捕するのを力強く支えるのである。正義感に溢れた孫大聖ら部下たちも，全員がそれを喜び，捜査を進めていく。

日本の映画では，往々にして，警官が無能だったり，警察組織において上司が保身を図ろうとしたり，隠蔽をしようとしたり，警察組織内部に対立があったり，警察や警官の問題点・マイナス面を描く作も少なくない。（一般の会社員同様，組織の一員としての，いわばサラリーマンとして警官の側面を描くものも少なくない。）この作品は，警官や警察が，正義感に溢れ，勇気があり，格闘能力もある頼もしい存在であるという点で，いかにも中国的な作品である。

映画の最後で音声のない文字のみ画面（「自2018年1月到7月底全国公共机关打掉涉黑组织514个，恶势力犯罪集团2993个，破获刑事犯罪案件3.4万起，全国刑事治安警情同比下降6.1%。」）が表れ，警察など全国の公共機関がいかに犯罪集団・組織の取り締まりに成功し，刑事案件を解決し，治安状況が改善したかを，わざわざ示している。作品のストリー上，これは格別必要のないものである。政府の統治がいかに優れたものであるかを示そうとするものであり，これは，日本をも含め一定以上のレベルで民主的である国では見られないものである。中国の作品において警官や警察が常に素晴らしいものとして描かれるのには，国家機関，統治機関としての無謬性やありがたさを傷つけるような内容は認められないという中国政府の意向も，当然その背後にあるものと考えられる。（詳しくは，「⑦心理罪」の項を参照。）

9：◎　　強く正義感に溢れた警官。一人でやくざ多人数をやっつける孫警官の強さ。

17：×　もっとも，一流企業趙氏集団も，反社会的組織として描かれてはいる。（また，映画最初には警察官たちによる犯罪集団摘発場面も少しある。）

19：×　善悪が非常に明確。警察官・警察組織は正義の側。

41：×　ただし，趙泰らが陳勇強を植物人間にした件は，企業業績に絡んでのことであり，間接的には関係ありか。

42：○　　（なお，企業ぐるみでの隠蔽もしている。）

46：△　孫警官は趙泰を逮捕する際，麻薬吸引の疑いをも逮捕理由に挙げる。ただし，それはストリー全体には出てこない。

50：×　自殺（未遂）は偽装。

③　幕后玩家（幕後玩家）

主人公は鐘小年。かつて唐万元とともに，共通の上司だった曽広文を追い出すために，その株価操作とマネーロンダリングを告発，そして曽広文の財産をマネーロンダリングしつつ自分のものとしていった。もちろん告発そのものは悪ではないが，鐘小年は，みずからの金銭的欲望のために上司を社会的に葬り，かつその資産をマネーロンダリングして自分のものとし財産を殖やした人物であり，さらに株価操作や脱税をはじめ様々な違法ないし道徳的に問題のある行為をもし

ており，犯罪者である。この作品は，そうした彼が復讐の対象となり財産を失い懲役刑に服すことになりつつも，その魂が救済される話ともいえる。

この映画において，事件の主な犯人は，曽雨・唐万元・朱楠の三人である。

曽雨は，真の黒幕。曽広文の息子で，鐘小年，唐万元ら金のことしか考えないやからに，父が自殺に追いやられ，一家を崩壊されられたことに対する復讐をした。

唐万元は，基本的に，金銭的な欲望のために（あるいは地位のためという側面もあるかもしれない。）犯罪をした。鐘小年に共通の上司曽広文を告発し追い出させ社会的に葬らせ，更に鐘小年をも社会的に葬って，その財産と地位を横取りしようとした。（自分の補佐の朱楠をも殺したが，これについては，金銭上の目的だけではなく，自分を裏切った朱楠への怒りも大きな要因であったように思われる。）

朱楠は，鐘小年監禁という犯罪に加わった動機について自ら話しておらず，犯罪の動機について確実なことは言えないが，鐘小年の妻を好きだったため，鐘小年が邪魔になっていたからかもしれない。

最後，主人公鐘小年の妻魏思蒙が，長年ひいきにしている云呑屋に行き，長年ずっと味が変わっていないことのはなぜかと訊くと，云呑屋の主人は，自分が変わっていないからかもしれないと言う。この作品はもちろん娯楽作品であるが，社会性・メッセージ性もある。今日の物欲に溢れた中国社会において，金銭的欲望のために己を忘れて道を誤る人間が多くいることに対し，本来の自分を忘れてはならないというメッセージを伝えようとした作品であろう。中国の社会状況を反映したメッセージであり，こうした内容のメッセージを有する作品は，日本の作品にはまずないのではないかと思われる。

④　江湖儿女（江湖児女）

主人公の巧巧は，暴力団のボスである斌哥の恋人であり，自分と一緒にいた斌哥が新興勢力の若者たちに襲われた際，斌哥のピストルを持ち出して斌哥を救う。ピストルの不法所持のため五年間監獄で過ごすことになる。監獄から出所するとすべてが変わっていた。斌哥に捨てられ，また長い年月のを経て再び彼と一緒になるまでを描く。17年という年月の中で時の移ろいを感じさせる中年の男女の愛情のドラマであり，推理やミステリーではなく，犯罪が話のメインの映画ですらない。

⑤　龙虾刑警（龍虾刑警）

警察官数名が麻薬売買組織の摘発のため，組織の向かいの料理店を買い取り，そこから秘かに組織を監視する。思ってもみなかったことに，料理店は人気が出るが，やがて監視の成果により，組織の摘発に繋げることができる。コメディタッチの作品。

9：○　ぬけた面も皆無ではないが，基本的に優秀。

22：△　九爷や将軍については最初から知っているわけではない。

25：△九爷，について

⑥　机器之血（機器之血）

SFアクションもの。ジャッキー•チェン（成龍）がプロデューサー兼主演（の一人）を務める。ストーリー・設定の面でも，映像面でも，ハリウッドのアクション映画の影響が極めて大きく，ハリウッドのアクション映画でよく見られるような映画。内地の制作会社の制作になるが，撮影場所は，オーストラリアおよび台湾・香港。

緊迫感あるストリー展開。サイボーグを頭とする集団が，武器技術ともいえるサイボーグ技術を奪おうとする。

サイボーグには林東をはじめとする警官も手こずるが，警官たちは優秀。非常に勇敢で，（少なくとも人間としては）格闘能力にも優れる。日本映画においてしばしば見かけるような無能な警官ではない。また，日本の映画にはありがちなように警官が組織の一員として圧力やしがらみの中で悩むといったようなことや，組織内に対立があったりするといったこともない。

9：○　林東ら警官は強く優秀，プロフェッショナル。
19：×　善悪が非常に明確。

⑦　心理罪

警察もの。天才的犯罪心理学者（方木）が犯人特定において極めて大きな役割（中心的役割と言うこともできるかもしれない。）を果たす点，犯人が精神的異常者（実はポルフィリン症による。）で猟奇的な殺人を行うこと，などが大きな特色。雷米の原作小説は，米国など外国の影響を強く受けていると思われる。

推理を重視した作品のようにも見えるが，ポルフィリン症患者が他人の血を飲みたくなるなど，無理な設定になっており，方木のプロファイルにも無理な推理と思われるものは少なくない。読者が推理を楽しむ本格推理の作品ではない。方木・部偉ら警官のキャラクター設定（とりわけ天才的プロファイラーとしての方木），異常な犯人による異常で猟奇的な犯罪，などで視聴者を引き付けようとする作品のように思われる。

方木をはじめ警官（方木はまだ実習生だが。）たちは非常に優秀で，調査・推理能力も，格闘能力もある。日本の作品にはありがちな無能な警官，保身に汲々となる警官，不条理な命令に組織の一員として悩む警官，警察内部の組織間対立，などは全く出てこない。警官・警察組織を汚点のない優れた英雄的なものとして描くのは，中国（大陸）の作品に共通して見られる特徴といえる。これはもちろん，中国共産党による国家統治の手足ともなる警察に対し国民が批判的にならぬよう，国家広播電影電視総局が審査において，批判的に警察を描く作品を認めていないということが背景にあろう。広電総局が2006年に公布した映画基準についての規定（「電影審査規定」（2006年6月22日より施行。2019年12月現在も有効。）には，以下の条項がある。

「十四，映画に以下の下に列挙した内容があれば，削除して修正すべきである。：（电影片有下

列情形，应删剪修改：）……（二）悪意をもって人民軍隊・武装警察・公安及び司法のイメージを損ねるもの：（恶意贬损人民军队，武装警察，公安和司法形象的；）」

⑧　记忆大师（記憶大師）

近未来（2025年）のアジアにあるN国を舞台とするSFミステリー。米国のSFの影響を大きく受けていると思われる。SFでもあるが，ミステリーとしての特徴は十分に備えている。（登場人物はもちろんみな中国語を使っているが，「N」は中国の中国語での頭文字ではない。）記憶を削除したり取り戻したりできるようになった未来。主人公は，記憶大師医療センターにおいて一旦削除した記憶を取り戻す際に，間違って殺人犯の記憶を得てしまう。警察に自分の記憶を話した主人公は，容疑者ともされてしまうが，真犯人の記憶をもとに，警察の捜査に協力する。ようやく医師の陳姍姍が真犯人だと思われるようになるが，そこでまた，実はそうではなく，何と取り調べに当たっていた沈警官が真犯人だということが明らかになる。犯人が警官という中国映画としては珍しい例。ただし，舞台は中国ではなく，近未来の「N国」ということになっている。中国の警官・警察の批判につながるのを避けようという配慮が働いたのではないか。

9：○？　格別有能に描いてはいないが，少なくとも無能に描こうとしているわけではない。（沈警官は，真犯人ながらある意味そこそこ優秀か。）
15：○　沈警官。なお，未来のN国の話。
25：◎　ようやく陳姍姍が真犯人だと分かったと思ったら，実は沈警官が真犯人と明らかに。
40：○　李慧蘭殺害の場合

⑨　心理之罪　城市之光

この映画において，推理は無視できぬ重要な要素ではあるが，最重要の要素ではなく，むしろ異常で猟奇的な劇場型凶悪連続殺人事件，主人公および学生時代から主人公に屈折した思いを抱き続けてきた真犯人の関係，など別の要素によって視聴者を引き付けようとしているように思われる。

主人公の警官方木は，優れた推理能力，プロファイリング能力を有する。格闘もけっこう強い。最後近くで，同僚警官に発砲してその警官を殺したように見せ，世の中の人々皆に向かって自ら真犯人を演じ，「城市之光」と称する犯人であることにプライドを持つ真犯人（江亜）を挑発し怒らせて，おびき出す。そして死を覚悟した真犯人との格闘の中で，真犯人の証拠となるその肉体に噛みつき，それを自分の消化器官の中に残し，自らの命を犠牲にして，警察による犯人逮捕を導く。主人公の死後，その思いを述べた録音が，多くの警官の前で，またネットを通して多くの市民の前で流される。プロファイリング能力・推理能力に優れ，理性的で，警官としての正義感にも満ちた素晴らしい演説となっている。この作品は，主人公の警官（方木）の英雄的行為を描いている。公安の人々は，主人公以外も有能であり，モラルなどの面でも悪く描かれている警官はいない。

DVDでは見られなかったが，動画視聴サイトで視聴すると，最後の場面に「仅以此片献给在城市中守望光明的战士」との一文が大きく現れ，この映画は年において光明の見張りをする戦士に献じられるとされている。さらにその後，音楽が流れる中，画面に出演者・制作関係者の名前が表示される中，警官・消防署員・軍人などの人々が，様々な事件や災害などにおいて人々のために活躍する映像も，それについての文字説明と共に，次々に流される。光明を見張る戦士である警官•消防署員•軍人らを称えるものとなっており,その点非常に中国的である。（⑦「心理罪」を参照。）

43：△　江亜の連続殺人は，問題とされる行為をした人物に対する私刑の形をとっている。

⑩　解忧杂货店（解憂雑貨店）

中国人（内地）監督による中国の作品だが,原作は日本の東野圭吾の『ナミヤ雑貨店の奇蹟』。

東野圭吾は2010年代における中国で最も人気のある外国人小説家の一人（2010年度以降発表されている外国人作家の中国における印税収入のランキングでは，2010年第5回〈外国作家の番付発表は，第5回が最初。〉10位，2011年第6回第5位，2012年第7回6位，2013年第8回8位，2014年第9回2位，2015年第10回発表2位，2016年第11回発表1位，2017年第12回第1位，2018年第13回第1位）であり，中国で極めて人気のある小説家ともいえる。`中国では東野圭吾の作品は,『ナミヤ雑貨店の奇蹟』が最初に映画化され，それ以外にも,『容疑者Xの献身』が2017年に『嫌疑人X的献身』の名で映画化されている。

（以下の説明は，東野圭吾の原作にもあてはまるものであり，この映画のみの特徴ではない。:）主人公らが犯罪をする話ではあるが，犯罪の推理・謎解きや，犯人逮捕などはなく，善意に満ち心の温まるある種のファンタジー映画である。犯罪についての推理・謎解きはないとはいえ，綿密な計算により，ストリー全体を構成するエピソード同士，登場人物同士が意外な繋がり方をしており，そのような綿密な計算により予想外の話を作り上げているという点では，よく練られた推理小説と同じ特徴を備えていると言える。

今回調査した中国の37作品の中で，この作品が最も善意に満ちた心の温まる話である。犯罪を行った主人公たちも，全く悪人としては描かれていない。この作品は犯罪を行った主人公らの悪人としての面だけでなく，善の面をも描いていると言うより，そもそも基本的には主人公らを悪人として描いていないとすら言ってもよいと思われる。犯罪者を悪人として描かないという特徴は，中国の他の作品にもないというわけではないが，日本の作品にかなりよく見られる特徴である。東野圭吾の小説を映画化したことにより，そうした日本の作品にしばしば見られる特徴がこの作品にも取り込まれることになったと思われる。

⑪　绑架者（绑架者）

主人公は娘を誘拐された警官。（臓器販売組織は臓器を得るために児童誘拐を行っていた。）犯人かと思われた被疑者は,記憶を喪失していたが,実は捜査のために犯罪組織に潜伏した警官（鄧

家明）であった。主人公の同僚警官の陸然は，警官でありつつも，姉が臓器移植できるよう犯罪組織と取引し繋がっていた。中国(大陸)の警官が犯罪者であるというのは，今回調査した中国(大陸）の映画の中においては，この作品しかなく，極めて珍しい。しかし，鄧家明が立派な警官として描かれているため，全体としてみると，警察や警官が悪く描かれているようには見えない。事件解決後，警察は鄧家明を表彰する。表彰の儀式の際，鄧家明は数多くの警官たちの前で，「鄧家明警官は，個人の安危を顧みることもなく，その身を捨てての正義は，民衆に恩恵を与え，児童誘拐集団を検挙することに成功した。（邓家明警官不顾个人安危，舍身之义嘉惠民众，成功破获儿童绑架集团。)」として称えられる。悪役警官を登場させ中国の警官のイメージを悪化させかねない要素があることを，こうした場面によって補おうとしているように思われる。

41：○　臓器売買組織の場合
44：○　小さい頃から自分を育ててくれた姉が臓器移植できるよう，主人公の同僚の犯人（警官）は，国際的な臓器販売組織と取引。

⑫　火锅英雄（火鍋英雄）

地下に防空壕が張り巡らされている重慶が舞台。劉波・許東・王平川は中学時代からの親友であり，彼らは三人で共同経営していた地下の火鍋店を拡張しようとして自分たちで店の周りの地下を掘っていると，予想もしなかったことに，店が銀行の金庫に繋がってしまった。彼らはどうしたものかと悩む。やはり中学時代の同級生でその銀行の職員の于小恵は，自ら勤めている銀行の上司・同僚や自らのさえない銀行員としての生活に不満を抱いていたが，久しぶりに三人と会い，劉波らの話を聞き，彼らのために，金庫に入り金を盗むための綿密な計画を立てる。しかし劉波は，計画を実行せずに自首することにする。ところがなんとその銀行に自分たちとは別に強盗が現れ，それを知った劉波らは，火鍋店から，自ら開けた穴を通って，命懸けで于小恵の救出に赴く。三人と于小恵は，犯人たちに捕まり縛られ，危うく殺されかける。だが最終的に彼らは助かり，銀行強盗と戦い人質を救った義勇の行為に対する報奨金を得，それを元手にして四人で新たに火鍋店を開くことにする。

この作品で悪人として出てくるのは，劉波に貸した金を暴力的な手段で取り立てようとするやくざの七哥やその手下たち，及び銀行強盗たちである。彼らは，銀行の金庫に繋がる火鍋店で，凄惨に殺し合う。劉波・許東・王平川・于小恵たちも，決して善人ではない。銀行の金を盗むことも考える。しかし，そうした重大な犯罪行為に実際に手を染めることはない。好意的に描かれている。

19：×（△）　銀行から金を盗む計画を立てたが実行しなかった劉波・許東・王平川・于小恵らの善良な面は描いているが，銀行強盗や殺人を行った者たちの善良な面は描かれていない。
22：×（△）　銀行から金を盗む計画を立てた劉波・許東・王平川・于小恵らは主役と言える。しかし，彼らはそれを実行しておらず，銀行強盗や殺人を行ったのは，彼ら以外。

38：×　銀行から金を盗む計画を立てた于小恵は，銀行の同僚や上司を恨んでいたが，彼女はその犯罪を実行したわけではない。

⑬　追凶者也

マンガン工場の経営者馬氏兄弟と結託し，董小鳳を雇って宋老二を殺させようとした村の顔役的存在（治安聯防隊の隊長。治安聯防隊とは，警官その他の公務員ではなく，派出所の管理下でその治安管理に協力する民間人により結成されている隊。）の銭貴興は，宋老二に問い詰められて以下のことを話す。宋老二が先祖の墓を移すことに同意せず，そのため，村のマンガン工場を着工できず，工場（あるいはその経営者である馬光兄弟）の収入の道だけでなく，全村，全鎮，全県，全省の発展や，そこに住む人々の収入の道を阻んでおり，皆が宋老二を殺したいと思っている，と。銭貴興は殺し屋に殺人を委託した犯人であるにも関わらず，全く反省する風もなく，おまえこそが問題なんだと言わんばかりにそう言う。（宋老二も，何とうなだれて考え込んでしまう。）立ち退きを拒む人間を邪魔な存在として消したいと思うことが殺人の動機にまでなるというのは，現実にはまず滅多にない極端な話ではあろうが，中国社会に存在する問題を描こうとした作だということができる。当然，日本では，こうした立ち退きと地域の発展という問題が中国ほどに深刻な社会問題とはなっておらず，こうした殺人動機，こうしたテーマの作品は，小説・映画・ドラマとしてもありえない。

金銭で雇われた殺人の実行犯董小鳳は，自称五つ星の殺人犯であるにも関わらず，相当にまぬけである。宋老二を殺したつもりでいたら，実はそれは別人（猫哥）であったり，殺人時，現場近くに停めていた（脱いだジャケット付きの）オートバイを王友全に盗まれ，それが宋老二によって真相を明らかにされる手掛かりとなってしまったり，一旦捕まえて縛った王友全に逃げられ，王友全を追う過程で眼鏡のレンズを割り，よたよたとしか歩けなくなるほどまでに体を傷めたり，彼は大小さまざまな失敗やまぬけなことを繰り返す。彼のまぬけさが笑える場面はとても多い。このような，殺人犯が間が抜けていて笑えるという作品は，今回調査した日本の作品にはなかった。

9・10：○？　犯人を明らかにできたのは宋老二であり，警察ではない。警察は格別優秀に描かれているわけではない。しかしまた，警察や警官が無能に描かれているとも言えない。
25：△　犯人は終盤になって明らかになるというわけではなく，さして意外性があるというわけではない。しかし，真犯人は，第一の主人公宋老二が最初犯人と考えていた王友全ではなかったので，とりあえず△とした。
44：○　上に記した銭貴興の言葉をそのまま信じるならば，銭貴興の殺人委託の動機は，単に馬氏兄弟のためというより，多くの人々のこと，社会の発展を考えてということになる。とうてい正当化できる動機ではないとは思うが。

⑭　惊天大逆转（驚天大逆転）

中国の映画製作会社・映画監督の制作した作品だが，舞台は韓国。李政宰・李彩英をはじめ韓

国人俳優・女優も多数参加。

韓国人警官の姜が，韓国に滞在している中国人精神科医・楊曦の協力を得つつ，犯人による爆破計画を防ごうとする。警官らが（あるいは精神科医が）犯人を推理し謎解きがされて終わる推理ものではない。犯人と，精神科医の協力をも得た警官とが，知恵と頭脳を戦わせる作品で，アクションものの映画でもある。

犯人が最初から分かっているように見せて（火傷によりPTSDになっている郭志達だと思わせて），実は犯人は予想外の弟・郭志華（異常な人間には見えず，また強そうにも見えず，犯人には見えないが，しばしば兄に化けていた。）だったことが分かる。しかし，最後の場面で，実はそれ以外にも，重要な犯人がいることが示唆される。（それが誰であるかは明らかにされていないが，あるいは郭志達であろうか？）

犯人•郭志達が警官たちに追い詰められ，橋の上から車ごと川に飛び込んで死んだと思ったら，それは実は郭志達に化けた郭志華であり，橋から落ちても死ななかったということが明らかになる。しかし真犯人であった郭志華が警官に射殺されて事件は最終的に解決したと思っていると，最後に，警官の運転する警察車両にあったUSBメモリー（賭博集団のボスが多額の金銭を引き出すためのデータが入ったもので，郭志華が賭博集団から奪っていたものが，姜警官のもとにあった。）が何者かに奪われ，更にまだ明らかになっていない真相があることが分かる。（明らかにされていないが，USBメモリーを奪った犯人は郭志達であろうか？）また，犯人の爆破対象だろうと考えられたもの（人）も，人気サッカー選手李躍の妻から，競技場の五万人の観衆，そしてガス管へと変わっていき，犯人の狙いが何か簡単には分からない。（実は，警察がガスを止めることは，犯人にとって，自分に債務の返済を迫り脅しいじめてきた賭博集団の本部への侵入経路〔つまりガス管〕の確保に繋がり，賭博集団からUSBメモリーを盗むことに役立つ。）以上のような点において，この作品はよく工夫・計算して作られた作品であると言うことができる。（ただし，続作の計画でもあったのか，すべてのことが明らかにはならぬままに終わってしまっている。）

この映画を見ると，非常にハリウッド的な映画であると感じられる。それは当然のことである。李駿監督は，ハリウッド的な映画を作ることを映画製作の計画が始まった頃から，強く意識していた。「拍出一部国产悬疑动作片的良心之作，究竟需要多少成本？」[4]（2016年11月22日）に，以下のように記されている。「映画が計画された始めの頃，李駿〔監督〕はシナリオライターの丁小洋に対し，純粋にハリウッド式のジャンル映画を作るように明確に要求した。以前，中国が犯罪映画を作ると，常に犯罪者の心情を述べようとし，あるいは，人間性を遡り探ろうとした。しかし，李駿が見るに，犯罪者は高い知能指数の者がなるべきであり，しっかりとしたロジックがあるべきである。それこそがジャンルもの映画の基本である。[5]」

この映画における犯罪の手法は，テロリズムの手法であるが，復讐すべき賭博集団からUSBメモリーを奪い多額の金銭を得るのに都合がよいよう，警察に都市ガスを止めさせる目的で行った犯行であり，政治的目的達成のためのテロリズムではない。今回調査対象となった中国映画に，政治的目的達成のためのテロリズムが出てくる作品はなかった。中国共産党の統治にとって危険

な存在となるテロリズムは映画の題材として認められないということが背景にあろう。

もっとも，そもそも爆破事件が国内で起こされるといったシナリオ自体，テロリズムを誘発しかねないものとされ，当局の審査を通らないものと思われる。上記の「拍出一部国产悬疑动作片的良心之作，究竟需要多少成本？」には，以下のことも書かれている。「李駿（監督）の印象としては，第一の脚本の完成はまあ順調といえただろうが，しかし，爆破事件が国内で発生し，精神科医の役が（アメリカ映画「キューティー・コップ」に出てくる）不器用な女性警官のようであるといった「政治的に問題のある」設定が，（当局の）審査を通らず，第一稿を改めても，やはりなお審査を通らず，いつの間にか2014年まで時期が遅れてしまい，（もともとの題名の）『100分間』も『逆転の日』に変わった。」[6] この映画は，最終的には韓国を舞台とする映画となったことで，広電総局の審査を通ることができたのであろう。

11：○　犯人・郭志華は姜警官に射殺されるものの，最後の場面でUSBメモリーを奪った犯人が誰か不明のまま，映画が終わる。

14：○　姜警官が主役（少なくとも主役の一人）。

25：◎　犯人郭志達が警官たちに追い詰められ，橋の上から車ごと川に飛び込んで自殺し，事件が解決したと思っていると，それは実は郭志達に変装した郭志華であり，かつ橋から落ちても死ななかったということが明らかになる。その後，真犯人であった郭志華が警官に射殺され，事件はようやく本当に最終的に解決した，と思うのだが，そう思っていると，今度は最後に，何者かが，姜警官と楊曦が乗る警察の車に車を衝突させ，警察の車からUSBメモリーを奪い，まだ明らかになっていない真相があることが示唆される。（明らかにされていないが，USBメモリーを奪った犯人はおそらく郭志達であろうか？）

34：×　もっとも，中国人精神科医・楊曦にそうした面も多少はあるともいえるかもしれないが。

35：○？　犯人・郭志華は精神を病んでいるようにも見えるが，演じているだけかもしれず，確かなことは分からない。最後にUSBメモリーを奪った犯人（誰か不明。郭志達だろうか？）に精神障害があるかについても，確かなことは分からない。

38：○（？）　郭志華の賭博集団の本部への侵入，襲撃には，金銭的目的以外にも，賭博集団に対する恨み・復讐の側面もあったように思われる。

48：×　犯行は，テロと見せて，実は個人的な金銭目的の犯行だった。（賭博集団に対する復讐という目的もあったかもしれない。）犯人が過酷な手段によって無関係な一般市民や建造物などへの攻撃をも行い，恐怖心を煽った点は，正しくテロリズムの手法である。しかし，テロリズムとは，本来，個人的な金銭獲得を目的としたものではなく，政治的・社会的目的の達成という目的を持つものであろう。この犯罪には，政治的・社会的目的と呼べるほどのものがない。中国で政治的・社会的目的達成のためのテロリズムを扱う映画を作ろうとしても，当局の審査を通らないこともその原因となっているのではないかと思われる。

⑮　捉迷藏（捉迷蔵）

実際にあった事件をもとにした韓国映画を改編した社会ホラー作品。犯人は，妄想性障害の女性で，固定した住居を持っていないが，他人の家を自分の家と妄想してそこに勝手に入り込み，本来の主を殺害し乗っ取っていく。主人公の家族も，危うく彼女に自分たちが殺され，家が乗っ取られそうになる。推理・謎解きの要素はない。超自然的なことは全くないが，背筋がぞっとするような怖さがある。

9：○　無能と言うわけではない。
33：×　ただし，主人公張家偉は，兄・張家輝の検死結果（DNA 検査を含む。）について聞いている。
35：○　妄想性障害（偏执型精神障碍）

⑯　老炮儿（老炮児）

主人公の六爺（六哥）は，かつて刑務所に入っていたこともあり，街でトラベルを見かけると正義感からそれに介入しようとする頑固な任侠堅気の老人。息子・暁波からは嫌われ，暁波は家を出て行っていた。六爺（六哥）は，暁波がトラブルに巻き込まれ，金持ちの息子の小飛のグループに監禁されていることを知る。十万元と引き換えに暁波を返してくれるよう小飛と話をつけ，お金を工面するが，小飛らに会いに行くと，トラブルになり，一週間後に決闘でかたをつけることになる。小飛のもとにいる女が，十万元と共に暁波を返して来たが，六爺（六哥）と暁波は，やくざの男たちにつけられ，袋叩きにされ，暁波は重体となる。六爺（六哥）が女から受け取った十万元の入った袋に，小飛は誤って父の財産隠しの証拠書類を入れてしまっており，六爺（六哥）らはそのためにやくざに襲われたのだった。末期がんであった六爺（六哥）は，小飛の父親の財産隠しを中紀委（中国共産党中央紀律検査委員会）に通報すると共に，一人やくざとの決闘の場に赴く。

推理・謎解きなし。推理でも，ミステリーでもない。任侠もの，に近いか。親子愛もテーマ。

善人・悪人の区別は基本的には明確。

41：○？　小飛の父親がやくざたちに六爺や暁波を襲わせたのは，財産隠しの証拠を回収するため。財産隠しという犯罪が明らかにされないようにとも考えられるが，財産を守るためとも思われる。（その双方というべきかもしれないが。）

⑰　唐人街探案

タイが舞台。

謎解き・推理は非常に重要な要素。本格推理。

非常に意外な人物が真の悪人。殺人犯の娘（中高生）思諾は，善良そうに見え，とうてい悪人には見えなかったが，彼女は実は偽りの内容の日記を書き養父を騙して，殺人をするように仕向けていた。（思諾は同級生を殺害し，それを疑い思諾をつけていたその同級生の父親つまり頌帕

を殺すために，自分が同級生の父親にストーカー行為をされ強姦もされたという偽りの日記を書き，自分の養父が頌帕を殺すように仕向けていた。秦風の推測によると，思諾は日記に，成功裏に頌帕を殺害する方法まで書いていた。）事件は思諾の父親が真犯人と言うことで片付くが，秦風は上記の真実に気づく。真犯人が明らかになってから，最後に更により悪い黒幕的存在の悪い人物が明らかになるというストリーは非常によく工夫されている。

密室殺人。予想外の犯罪方法。そもそも真犯人はいたが，金は盗まれてすらいなかった。（仏像になっていた。）非常に工夫して犯罪を設定している。

そもそも頌帕殺害事件と金窃盗事件は一つの事件と思われていたが，秦風は実は別々の事件だったことを明らかにしている。推理作品として非常に工夫がされている。

中国映画では数少ない本格推理作品の一つ。中国映画では数少ない密室殺人作品の一つでもある。本格推理や密室殺人については，明らかに日本を含めた外国の推理小説の影響がある。以下は，84分目と117分目の主人公秦風の言葉である。84分目：「歌野晶午的《求道者密室》，凶手为了杀人躲在天井里一个月。……福尔摩斯说过，『排除所有不可能，剩下那个多不可思议，都是事实真相。』（「歌野晶午の『求道者の密室』では，殺人犯は殺人のために天井に一カ月隠れていた。……ホームズは言った。『あらゆる不可能を排除し残った不思議なことがすべて事実真相である。』）」，117分目：「杰克・福翠儿《遗失的雷》中，凶手就是藏在皮箱里潜入研究所的。青崎写的体育馆杀人，凶手也是躲在一辆手推车里离开现场的。这种桥段，在我们侦探推理解里并不新鲜。（ジャック・フットレル〔1875 〜 1912 アメリカ〕の『The Lost Radium』において，殺人犯はトランクに隠れて研究所に潜入した。青崎有吾が書いた『体育館の殺人』においても，殺人犯は手押車に隠れて現場を離れた。このような手法は，私たち探偵推理の世界では，決して珍しいものではない。）」

（秦風のおじさん唐仁は，詐欺のような行為もしているし，女性トイレ覗きなどもしていて，好色でもある。この程度の小悪の彼は，悪人とはみなされてはいない。しかし，作品全体を見ると，）善人と悪人とは基本的には曖昧ではなく明確に区別されているといえる。

この作品においては，警察や警官がひどく無能で間抜けなものとして描かれている。そうした面においても，この作品は中国映画では極めて珍しい作品である。ただし，この作品はタイが舞台であり，警察はタイ警察，警官もタイの警官である。中国に外国の警察・警官を無能に描くこうした作品があるにもかかわらず，中国の警察・警官を無能に描く作品がないということは，中国において中国の警察・警官を無能なものとして描くことがタブーとなっており，作品上そのような作品を制作したい場合もそれは不可能であるということを表しているように思われる。

7：　×？　主人公秦風は，探偵としての役割は果たすが，職業的な意味での探偵ではない。
13：○　ただし，謎を解けた秦風の代わりに，おじさんの探偵・唐仁が話す。

⑱　烈日灼心

須一瓜の小説『太陽黒子』を改編した映画。

推理・謎解きの要素はほとんどない。

7年前，別荘にいた一家五人が惨殺される凄惨な事件が起きた。犯罪に関わった楊自同・辛小豊・陳比覚は捕まることなく，楊はタクシードライバー，小豊は協警（正規の警官ではなく，取り締まりなどは正規の警官と行う必要がある。）となり，まっとうに暮らしていた。（陳は事件後逃げる際の事故で痴呆になっていた。）彼らは惨殺現場から連れて来た女の子尾巴を育てていた。ある日，小豊のいる隊に優秀な伊谷春警官が上司として赴任してくる。伊谷春警官は優れた協警である小豊を高く評価するが，次第に，小豊が一家惨殺事件の犯人ではないかと強く疑うようになる。楊はある時，偶然に遭遇したひったくり事件の犯人を追った際，伊谷春警官の妹小夏と知り合い，それがもとで小夏と親しくなり，お互いに好きになるが，楊は犯罪者として，彼女との愛に悩む。ある時，小豊が伊谷春警官とともにある事件の犯人を追っている際，伊谷春警官は高層建築の上から転落して死にそうになる。小豊は，全力で伊の手を引いて伊を助けようとするが，追っていた犯人たちが二人を襲おうと近づいてきて，危機が迫る。小豊はそれでも伊警官の手を放さない。伊谷春警官は死を覚悟し，小豊に自首を勧める。小豊はぎくりとしつつも，やはり手を放さない。他の警官たちがそこに現れ，二人は危機一髪のところ助かる。小豊・楊は，7年前の事件について，自分たちがやったと嘘の自供をし，死刑となる。二人の死刑執行後，伊谷春警官は知る。小豊・楊はそもそも7年前に確かに事件の現場にいたが，心臓病の発作で亡くなった娘以外について言うと，実際に手を下したのは別の人物であり，二人（陳を含めると三人）は，手を下さず，その場から女の子を連れて逃げた。二人が自分たちがやったと嘘の自首したのは，連れ帰って育ててきた尾巴が，いずれ，自分を愛し育ててくれた二人が実は一家惨殺事件の犯人であると知り苦しむことになるのを恐れ，自ら命を絶とうとしたからだ，と。

中国の映画は，人間の善悪を明確に分け，犯人は悪人として描くものが非常に多いが，この作品は，善良な心がある犯人を描いている点で際立っている。ただし，楊自同は，7年前，人を殺していない。（借金を取り戻しに行くことを考えたのは楊であるが。）小豊は，心臓病の全裸の娘が床に横たわっているのを見てつい犯してしまい，その娘を発作で死なせてしまったが，もともと楊に呼ばれて偶然遊びに来ただけで，犯罪をするつもりなどそもそも全くなかった人物である。二人とも，実際に手を下した犯人に命じられても，手を下そうとしなかった。凶悪犯とは言いがたい。したがって，この作品を，凶悪な犯罪者にも善良な心があるストーリーの事例と言うことはできない。

なお，中国の作品らしく，協警の小豊は過去に犯罪をした過去があるものの，伊谷春警官にしろ協警になってからの小豊にしろ，優秀で勇気があり，危険を顧みず真剣に職務を行い，正義感に溢れた警官として描かれており，警官や警察への信頼やイメージを低下させ傷つけるような部分はない。

12：△　楊自同・辛小豊・陳比覚が7年前の犯罪に関わっていたことは，視聴者は最初から知っているが，本当の真相は，終盤近くになって初めて明らかになる。

15：△　辛小豊の場合。彼は過去に強姦をして人を心臓発作で死なせてしまった。その後，非正規の警官である協警になった。

18：○　伊谷春について
25：△　終盤になり，楊自同・辛小豊・陳比覚ではない犯人が捕まり，真相が明らかになる。心臓病の娘以外はすべて，彼が口封じのために殺していた。
42：○　7年前，楊自同・辛小豊・陳比覚以外に別荘に行った犯人について。

⑲　解救吾先生

この作品において，警察・警察官の登場する時間はかなり長いが，警察官や警察組織の問題に触れる場面は全くない。警察組織内部で不条理な事柄・確執などが生じるようなこともなく，警官が組織の一員として悩むといったこともない。警官は優秀で，一度として迷ったり間違ったり失敗することなく，事件を解決してゆく。

事件解決後，警官の邢峰・曹剛二人が車（警察の車と思われる。）に乗っている場面がある。彼らは事件解決後も忙しく仕事を続けており，邢峰は携帯に息子から掛かってきた電話にも，お父さんは本当にとても忙しいんだと言う。そして，車のダッシュボードに載せられた警察官の制帽がアップで映し出される。そしてそのすぐ後，車のラジオの放送が，事件が成功裏に解決されたことを伝える。制帽の映像は，警官たちの英雄的行為・精神・誇りを強調するための映像であろう。

ここまで警察官を優秀で英雄的な人物として描く映画は，日本の作品にはないと思われる。少なくとも今回調査した日本の作品にはなかった。

なお，張華が警察に捕まって取り調べを受ける際，日本や欧米・韓国（現代もの）などの映画では見ないような，被疑者用の金属製の椅子が出てくる。前に金属製の台（ごく小さな机）が付いており，張華はその台付きの椅子の金属棒（太い金属の棒が上・中・下それぞれにあり，それらが腰掛けた張華の体の周囲をぐるりと囲んでいる。）に周囲を囲まれ，それに固定された状態で腰掛けさせられており，勝手に立ち上がれないようになっている。これはわざわざ映画用に作った椅子ではないだろう。取り調べ中の被疑者の人権は，日本も少なからず問題のあるところであるが，中国（大陸）のそれは相当に大きな問題を抱えていることが見て取れる。

9：◎（○）　優秀で，一度も失敗することなく成功裏に事件を解決。
14：×　ただし，警官の邢峰・曹剛も準主役級。
16：×　警察・警察官の登場する時間は作品中かなり長いが，警察官や警察組織の問題に触れる場面は皆無。
17：○？　張華が組織したグループを犯罪組織と呼ぶならば，○。固定した永続的な犯罪組織であるやくざなどではないが。
19：×　主犯の張華の母への思いは描かれる。犯人たちが，1キロあまりも歩いて買い物に行き，誘拐した吾らにリンゴを食べさせる場面もある。犯人の一人（他の犯人らに「でぶ〔胖子〕」と呼ばれている犯人。）が，捕まったとき自分たちにどのような刑が言い渡されるかを知り，怖くなって，吾ら人質の手枷を解こうとする場面などもある。（この犯人は，他の犯人同様十分なモラル

をもっているわけではなく，善人とは言いかねるものの，誘拐・監禁を実行した他の犯人たちに比べて人間味がある。）しかし，犯人たちは，身代金を受け取れるかに関わらず人質を殺そうとするような人物であり（吾ら人質の手枷を解こうとした犯人も，結局人質を殺そうとした。），基本的にはやはり悪人として描かれていると見ていいと思われる。

⑳　黒猫警长之翡翠之星（黒猫警長之翡翠之星）

児童向け動物アニメ。推理やミステリーではない。

黒猫警長ら警察•警官は，治安を守るありがたい存在。黒猫警長は，市民の安全のため悪人（？動物）を懲らしめ，逮捕する。戦うと強く，正義感に満ちた理想的な存在，正義の味方。

善悪の区別が明確。正義の側の警察が犯罪者（悪人〔動物だが。〕）を捕え懲らしめる。

理想化された警官・警察を描く点，いかにも中国の作品らしい。子供向け作品のため教育的効果を考えてか，それがとりわけ徹底している。

テーマソングには以下のような歌詞がある。「你给我们帯来了生活安宁。……黒猫警长，森林公民向你致敬，向你致敬，向你致敬。（あなたは私たちに生活の安寧をもたらしてくれた。……黒猫警長，森の公民があなたに敬意を表する，敬意を表する，敬意を表する。」統治機関をこのように理想化・英雄化するテーマソングは，民主主義国家においては，ありえないとまでは言えないとしても，まずなさそうだと思われる。

9：◎　強く聡明で正義感に溢れる。理想化されている。

㉑　白日焰火

1999年，省内のあちこちの石炭工場の石炭の中に死屍の一部が発見される。5年後，また似たような事件が起こる。主人公の警官・張自力らが捜査に当たったが，三人の死者がみなクリーニング店の店員の呉志貞という一人の女性と関係があったということ，そしてまた，彼女は1999年の事件で殺害されたとされた人物（梁志軍）の未亡人であるということが明らかになった。張自力は捜査のためにクリーニング店に客として通い，呉志貞に近づき，彼女との間に男女関係も生じる。彼はやがて真相に辿り着く。

最終的に真相が明らかになると，それは以下のようなものであった。1999年，クリーニング店の客・李連慶が，服を台無しにされたと店にクレームをつけ，法外な賠償金の支払いを要求。呉志貞は賠償できず，李連慶に肉体関係を一度ならず要求され，彼を殺害。呉志貞の夫で廃品処分業者の梁志軍が，呉志貞のために李連慶の死体を処分。その死体（の一部）に自分の身分証を添えて自ら死んだことを装い，姓名を変えて隠れて生きる。それ以降，呉志貞に好意を持ち近づいた男は，彼に殺されるようになる。（また，梁志軍を逮捕しようとした警官・王も，彼に殺害される。）

梁志軍は警官たちに遠巻きに取り囲まれ捕まりそうになったところを逃げ,警官に射殺される。呉志貞は，彼女が李連慶を殺害したと考える警察に事情聴取される中で，自白し，逮捕された。

9：○？　格別無能ということはない。

40：○　注42を参照。

42：○　梁志軍が，自分を被疑者と見て捕えて警察に連れて行こうとした刑事・王を殺害した件のみについて。

他の犯罪とその動機は以下の通り。

99年に呉志貞が李連慶を殺害。李連慶は，クリーニング店で働く呉志貞が李連慶の服をクリーニングの際にだめにしたと高額の賠償を請求,払うことのできない呉志貞に肉体関係を要求した。そのため呉志貞が李連慶を殺害。呉志貞の夫の梁志軍が死体遺棄を手伝い，かつ李連慶の遺体を自分の遺体に見せかけ，自分自身は身を隠した。

第二，第三の殺人は，身を隠してひそかに呉志貞を監視していた梁志軍が，呉志貞に近づき彼女を好きになった男を殺害したもの。

（第四の殺人が，梁志軍による刑事・王の殺害。）

44：△　殺人以外について。上記注42の「梁志軍が死体遺棄を手伝い，かつ李連慶の遺体を自分の遺体に見せかけ，自分自身は身を隠した。」の部分は，他人のための犯行と言える。

㉒　笔仙惊魂3（筆仙驚魂3）

不気味で，超自然的なホラー作品に見えるが，途中で人による犯罪と分かる。

28：○　ホラーのようで実は人間による犯罪。

51：△　毒キノコによる幻覚作用の利用が出てくる。ただし，具体的に何というどのようなキノコなのかは明確にされていない。

㉓　无人区（無人区）

モラルと秩序に欠ける悪人ばかりの荒涼たる砂漠の無人地帯。そこは暴力や人殺し，詐欺行為などを何とも思わぬような人物が横行する場所である。弁護士としての成功者である潘肖は，もともと自らの利益のために行動するモラルに欠く人物であるが，運転する車で無人区の無法地帯に入り,喧嘩を吹っかけてきたトラックの荷台に火をつけたり,誤まって轢いてしまった人物（殺し屋）の死体を遺棄して燃やそうとするなど，自らもモラルに欠く犯罪行為に染まっていく。無人地域に現れる登場人物は,基本的に皆モラルに欠き人の命を何とも思わぬ犯罪者であり（唯一,ストリップダンサーの女性だけが比較的まともで善良である。），主人公は命を狙われる。犯罪者となった潘であるが，彼は，自らの命に懸けて，ストリップダンサーの命を無法者たちから救おうとして，絶命する。潘についていうならば，簡単には善人とも悪人とも簡単には言えないように思われる。モラルに欠けた悪人にも見える主人公が，善人としての面をも見せる所にこの作品の深みがあるように思われる。

19：×　ただし，上記をも参照。

22：×　同上。

㉔　全民目击（全民目撃）

法廷裁判もの。富豪・林泰の娘・林萌萌が，彼の新しい恋人の楊丹を殺害したとの容疑で，被告となる。林泰は娘の弁護を一流弁護士・周莉に依頼，彼女は著名な検察官である童涛をはじめとした検察と，法廷で対決する。視聴者は最初から事件の真相を知っているわけではない。この作品には，探偵や警官が登場するわけではないが，推理・謎解きの要素がある。

裁判で林萌萌が不利になると，新たに証拠と思われる映像が現れる。それは林泰が真犯人であることを示す映像だった。林泰が真犯人であることが明らかになったと見なされ，彼は逮捕される。しかし実は，この映像は，林泰が，犯人である萌萌を守るため，自ら捏造した映像だった。

この作品では，犯人でない林泰が，娘を守るために，身代わりとなって自らが（無実の）「真犯人」となる。また，林泰お抱えの運転手であり事件当時楊丹の運転手であった孫偉も，裁判の証人席において，その初めからではないが，林泰への忠義から，自分が楊丹を殺したと嘘をつく。犯人ではない人物が真犯人を守る等の理由で自ら犯人であると嘘をつくといった類の映画は中国では珍しく，今回調査した中国映画三十七作品の中では，この作品のみである。

9：/　　検察官は無能ではない。
19：○　林萌萌の父への優しい思い。萌萌は，楊丹を殺してしまった自分の身代わりに父・林泰が罪人になることを心の底から悲しむ。（ただし，彼女が自分の犯した犯罪そのものを後悔しているといった描写はない。）

㉕　二次曝光

映画の前半（最初の五十数分間），視聴者は疑うこともなく，主人公が親友を殺したと思ってこの映画を見る。しかし，映画を半分以上見ると，実は主人公には精神障害があり，彼女が親友を殺したと思っていたのも，警官を車で轢き殺してしまったと思っていたのも，すべて彼女の妄想にすぎなかったことが分かる。主人公の精神に障害が生じた原因は，子供の頃，彼女の母が父に殺されたのを目撃したことだった。（主人公が嫉妬して妄想の中で友達を殺す原因にもなった主人公の愛する彼氏も，また殺人事件を調査している警官も，すべて主人公の妄想の中の存在で，実際には存在しなかった。）

9：○　　無能とは言えない。
19：×（△）　母を殺した父について。
22：△　主人公は人を殺したと思っていたが，実はそれは妄想だった。
25：△　主人公は実は人を殺していなかった。（母を殺害したのは父だったのも意外性あり。）
28：△　主人公の犯罪は妄想。
35：△　主人公は精神障害。親友を殺したと思っていた（また，警官を事故で轢き殺してしまっ

たとも思っていた。）が，実はそれは妄想にすぎなかった。したがって，犯人ではない。
40：△ （父は母を殺していた。）
50：○ 主人公は殺人をしていなかった。（ただし，母はかつて父に殺されていた。）

㉖ HOLD住爱

推理映画ではない。犯罪もの映画というよりは喜劇タッチの愛情もの映画と言う方が当たっているか。結婚したが喧嘩して離婚した若い男女（陶小磊と周静）が誘拐事件（偽装誘拐および真の誘拐）に巻き込まれ，その中でお互いの愛がしっかりしたものとなる。最初の周静誘拐事件は，実は偽装であり，陶小磊の父親が二人の関係を回復させる目的で画策したものであり，その後の誘拐事件は，犯人が陶小磊の父親からUSBメモリーを得るために陶小磊と周静を誘拐したものである。

28：△ 最初の誘拐事件は，陶小磊の父親が陶小磊と周静の関係を回復させる目的で画策した偽装誘拐。
41：○ 陶小磊の父親からUSBメモリーを得るための誘拐。
44：× 最初の周静誘拐の件は偽装事件であり真の事件ではないため×としたが，陶小磊の父親は，陶小磊が周静と復縁できるように偽装誘拐事件を起こした。

㉗ 边境风云（辺境風雲）

推理の要素などは全くなく，犯罪を軸としたドラマ。舞台は，ミャンマーとの国境に近い辺境地域，およびミャンマー。

回想をする倒叙式の方法で編集しており，これは工夫の結果とも言えるが，その結果，やや分かりにくくなっている面もあるかもしれない。

十数年前，犯罪組織による麻薬取引の際，取引現場の向かいの歯科診療所に，患者として犯罪組織のボスがおり，また孫紅雷の演じるその手下もいた。取引は警察にばれており，失敗。歯科診療所でも，警察と犯罪組織の銃による打ち合いとなり，ボスは死亡。孫紅雷の演じる麻薬売買人は，歯科医師の小さな娘・小安を人質として連れ，ミャンマーに逃亡。ボスの息子は，小安を殺そうとするが，孫紅雷の演じるやくざは，彼女を守る。そして，ボスの息子やその手下らを殺し，自分自身が犯罪組織のボスとなる。

孫紅雷の演じる新たなボスは，人質として連れて来た小安を大人になるまで大事に育て，彼女と夫婦となる。後，部下に背かれて殺されかけた時も，小安の命は守ろうとする。彼は，お金を寄付して，ミャンマーで教師として働くようになった小安が子供たちを教える学校を建てもする。ただし，彼は裏切った者は情け容赦もなく平気で殺す冷酷な犯罪者でもあった。

歯科医師は娘を失い，取り戻すために，孫紅雷の演じるやくざが診療所に隠していた麻薬を持って娘を取り戻そうとしたところを，麻薬所持により警察に捕まり，十数年に渡り獄中で暮らすことになる。獄を出てから，大人になった娘を取り戻そうとするが，彼女はすでに孫紅雷の演じる

やくざを愛しており，拒否される。

後，居場所を失った小安ら夫婦は，歯科医師と暮らすようになるが，歯科医師は，麻薬取引をして警官や取引相手を殺した孫紅雷の演じるやくざが，娘と共に出国しようとしていることを，ひそかに警察に通報。空港でそれに気づいた孫紅雷の演じるやくざが歯科医師を射殺しようとし，見張っていた警官に射殺される。

この映画では，犯罪組織の殺し屋（自分を疑う隣人――警官の妹――を，口封じのため殺そうとした人物）は完全な悪人である。ただ，孫紅雷の演じるやくざは，残虐な悪人ではあるが，自分がさらってきた小安の命を守り，大事に育てるなど，愛情深い面も見せる。日本映画に比べ，善人と悪人の区別の明白な場合の多い中国映画であるが，この作品においては，悪人にも善の一面があることが描かれており，それが一つの特色になっているように思われる。

42：○　犯罪組織の殺し屋が，自分を疑う隣人で（警官の妹）を，口封じのため殺そうとした。

㉘　笔仙惊魂（筆仙驚魂）

「笔仙（筆仙）」とは降霊術・占いの「コックリさん」のことである。

この映画はホラー作品と言えるが，最後の10分ほどで実は人間による犯罪と分かる。犯人氷菲児が柳糸糸から劇の主演女優の地位を奪うため，幻覚を生むLSD成分の入った口紅を柳糸糸に渡す。柳糸糸に幻覚が生じ，その精神が錯乱，柳糸糸は川で溺死する。（氷菲児は自作自演でナイフで自らを傷つけ，柳糸糸のせいだと見せようともする。）

百度百科の「笔仙惊魂」の項によると，制作グループは，ホラー音楽の十分な効果を得るため日本にも赴いて，室田憲一に担当を依頼している。

なお，中国語で題名に「笔仙」と名の付く映画には，以下の作品がある。

A 「笔仙」（韓国映画「분신사바」の中国語タイトル。日本名「こっくりさん」。2004，監督：アン・ビョンギ）：中国語版があり，また中国映画「笔仙」1・2・3の監督がアン・ビョンギ監督であることからも，中国の「笔仙」関連の映画は，もとはこの作品の影響のもとに作られたものと考えられる。（日本のこっくりさん映画は，中国大陸で中国語版が作られたことはない。そのうち，2005年の「こっくりさん日本版」は，香港で広東語・日本語音声/英語・中国語字幕の翻訳版が作られているが，タイトルに「筆仙」が入っていない。また，「KOKKURIこっくりさん」（1997年）・「こっくりさん　日本版」（2005年）・「怪奇都市伝説　こっくりさん」（2008年）・「こっくりさん　劇場版」（2011年）・「こっくりさん　恋獄版」（2014年）など日本のこっくりさん映画の多くないし大半は，上に挙げた韓国や中国の作品とは異なり，こっくりさんをする際，筆ではなく小銭を使っている。）

B 「笔仙1」（2012，中国映画，監督：韓国人アン・ビョンギ）

C 「笔仙2」（2013，中国映画，監督：韓国人アン・ビョンギ）

D 「笔仙3」（2014，中国映画，監督：韓国人アン・ビョンギ）

E 「笔仙惊魂」（2012，中国映画）

F　「笔仙惊魂2」(2013，中国映画)

G　「笔仙惊魂3」(2014，中国映画)

H　「笔仙惊魂4（笔仙魔咒）」(2015，中国映画)

I　「笔仙诡影」(2016，中国映画)

J　「笔仙咒怨」(2017，中国映画)

上記のうち，韓国映画のAのみは，人為によらない超自然的要素による真のホラー作品である。

これに対し，韓国人アン・ビョンギ監督による中国映画を含め，中国映画（B～J）においては，基本的に，超自然的な恐ろしいことは，実は犯罪など人間によって仕組まれた怪異など非超自然的なものである。（精神異常・幻覚・夢によって超自然的な恐ろしい現象を見るものもある。）これは，中国では広電総局の審査があることによって映画の内容が制約されているためであろう。

ただし，中国映画（B～J）においても，超自然的要素もあるいはあるのかもしれない（？）と思わせる作も若干存在する。

Cにおいても，恐ろしい怪異はやはり精神異常や犯罪による怪異であるとも思われるが，これは解釈次第で見方は変わり，超自然的要素があるのか判然としない。

また，Hにおいては，基本的に怪異は人為によるものなのだが，最後二十秒ほど，取って付けたかのように，幽霊でも現れたのか（？）とも思われる場面があり，広電総局の審査に合格する範囲内でホラーらしさを演出しようとしていることが見て取れる。Iにおいても，幽霊の復讐と思われたことは実は人間による殺人だったのだが，やはり最後1～2分ほど，幽霊が人に取り付いているとも思われる場面もある。（ただし，これも，精神異常によってそう思われただけかもしれず，超自然的要素があるのか判然としない。）これもやはり，広電総局の審査に合格する範囲においてホラーらしい怖さを演出しようとしたことの現れであろう。

なお，日本で作られたこっくりさん映画としては，以下のようなものがある。

「KOKKURI こっくりさん」(1997，瀬々敬久監督)

「こっくりさん　日本版」(2005，坂本一雪監督)

「こっくりさん～本当にあった怖い話～」(2007，福田陽平監督)

「怪奇都市伝説　こっくりさん」(2008，松浦幹三監督)

「こっくりさん　劇場版」(2011，永江二朗監督)

「こっくりさん　恋獄版」(2014，竹川透監督)

「こっくりさん　劇場版　新都市伝説」(2014，仁同正明監督)

これら日本のこっくりさん映画は，いずれも，呪い・霊など超自然的なものが出てくる真のホラー作品であり，恐ろしい現象は実は人間がやっていた，あるいは幻覚だった，といった類の映画は一つも存在せず，中国の作品とは異なる。

中国のホラー系映画は，広電総局による審査基準のもと，犯罪など人為によるものであり（登場人物が精神の異常などで恐怖の場面を見ることもある。），視聴者としてはあらかじめそのことが見当がついてしまうため，ホラー映画としては十分な恐さに欠ける。また，本論文で調査対象となった犯罪映画でも，日本の犯罪映画においてはホラー系の作品は1つもなかったのに対し，

中国の犯罪映画においてはいくつもそうした作品があった。中国においては，広電総局による審査制度のため，ホラー作品を作りたい場合も，超自然的な恐怖の要素がある真のホラー作品を制作することができず，そのため犯罪ホラーといった類の作品を制作することになり，その結果，言わば犯罪ホラーとも言うべき映画のジャンルが実質的に存在することになった，とも言えそうである。

なお，上記に関連し，「㉝B区32号」の項をも参照していただきたい。

9•10：　△（○）　警察はほとんど登場せず，この作品においては重要な存在ではない。ただし，警察官が柳糸糸の体内からLSD成分が検出されたことを慕凡に話す場面はある。
19：×　犯人氷菲児は基本的には腹黒い人物として描かれていると思われるが，彼女が柳糸糸の死後，かつてのことを思い出し，その死を悲しんでいるような場面もある。（1分以内）
22：△　主役の一人。唯一の主人公はいない。
27：○　なんと氷菲児が柳糸糸に渡した口紅に，幻覚を生むLSD成分が入っていた。
28：○　ホラーのようで実は人による犯罪。
33：×　ただし，警察官が柳糸糸の体内からLSD成分が検出されたことを慕凡に話す場面はある。
41：○　犯人氷菲児が柳糸糸から劇の主演女優の地位を奪うための犯罪。
51：△　犯人氷菲児が柳糸糸に幻覚を生むLSD成分の入った口紅を渡し，そのため柳糸糸に幻覚が生じ，その精神が錯乱する。

㉙　孤岛惊魂（孤島驚魂）

青年男女8名（実は一人は犯人）が，巨額の賞金をかけたゲームに参加し，孤島に行く。孤島で様々な恐ろしいことに遭い，犯人による殺害により，またお互いの疑心暗鬼による殺し合いのため，最後1名のみが生き残る。ホラー作品に見えるが，最後の十数分ほどで，実は人による犯罪であると分かる。「㉝B区32号」の項目をも参照していただきたい。

28：○　ホラーのようで実は人による犯罪。

㉚　硬汉2奉陪到底（硬漢2奉陪到底）

主人公・老三は，元潜水兵。脳に障害があるが，常に悪人を倒そうと強く思っている正義感の非常に強い硬骨漢。ある時，銀行で黒勇ら銀行強盗と勇敢に戦い，警察が彼らを捕まえるのに大きな役割を果たし，この時，韓警官やその妹で銀行員の韓小恵と知り合う。小恵とはその後，恋人となる。黒勇はやがて脱獄，銀行の現金輸送車を襲撃し，さらには警察に捕まりその監視下にあった弟を救出するために，取引の材料として，韓警官の妹・小恵を拉致・監禁する。老三と韓警官は，黒勇らと戦い小恵を救出する。

19：×　善悪（善人と悪人の区別）が極めて明確。

44：○　銀行強盗で脱獄犯である黒勇は，警察に捕まってその監視下にあった弟を救出するために，取引の材料として，韓警官の妹・小恵を拉致・監禁する。

㉛　密室之不可靠岸

「密室之不可～」は，中国で制作された最初の名探偵推理映画のシリーズ。（ただし，国情を反映し，主人公は職業としてはプロの探偵ではなく，推理小説作家であるが。）「密室之不可靠岸」は，前年の「密室之不可告人」に次ぐ作。

「密室之不可告人」と同様，本格推理映画。推理・謎解きを楽しめる。

真相・事実が明らかになる過程は，よく考えられた複雑な構成をとる。すぐには真相が明らかにはならず，真相が明らかになったと思っても，後に更に別の真の真相が明らかになる。具体的には，ストーリーは以下の順序で進む。

a)　肖揚・朱迪を殺した犯人が蘇静静であることが明らかになったかと思われる。

b)（蘇静静が肖揚・朱迪を殺そうとしたという事実が覆るわけではないが，）実は肖揚と朱迪を本当に殺したのは董磊で，彼は蘇静静を犯人と見せ，自分の代わりに犯人として罪を背負ってもらうために，彼女を利用したのだ，ということが明らかになる。柳飛雲を船から突き落として殺そうとしたのも董磊であるということが分かる。

c)　b）ですべてが明らかになったかと思われたが，実は蘇静静も非常に恐ろしい心を持つ女性であるということが明らかになる。

7・8：△　職業としての探偵ではなく，探偵的役柄の推理作家。

25：○　董磊

42：○　董磊も蘇静静も，自分の過去の秘密を知られたくない。自らの過去に関わる秘密を知られたくないため，それに関連する事実を調べ公開しようとしていた肖揚・朱迪を殺して，口封じしようとする。董磊が柳飛雲を船から突き落として殺そうとしたのも，肖揚・朱迪が二人とも上記の同じ事実（事件）に関心を持っていたことに柳飛雲が気づいたと知ったため，柳飛雲を殺害して口封じをしようとしたもの。（なお，董磊が乗っていた船をわざと沈めようとしたのも，証拠隠滅のため。）

51：△　アンボイナガイの毒による殺害が出てくる。また，服用せず単に部屋の空気で薄まったものを吸い込むだけで，幻覚を生み，心臓病の発作をも誘発する鬱病治療薬も出てくるが，その薬の具体的な名は明らかにされていない。　実際にはそのような強烈な効果を発揮する薬はないのではないか。

㉜　床下有人

最初，超自然的なホラー作品かと思うが，比較的早い段階で，人間による腹黒い策略であるということが分かる。主人公氷児のボーイフレンド況宇が，その元ガールフレンドの萌萌とグルになって，氷児を殺そうとする。

51：△　救心丸を服用する心臓病の主人公に糖尿病薬メタホルミン塩酸気を飲ませ殺そうとするというのは，殺人の方法として，実際には無理があろう。確実に殺せる方法による必要があろう。

㉝　B区32号

警官や探偵（的役柄の人物）による推理•謎解きなどはない。（そもそも警官や探偵は登場しない。）

恐ろしい怪異現象を親しい関係の男女二人（実際に撮影するのは男）がカメラで屋内を撮影し真相を知ろうとするというストリーで，アメリカ映画『パラノーマル•アクティビティ』（1作目）をまねている。

恐怖の屋敷の話。夫の沈昂が別荘を買いそこに幽霊がいるとして精神異常を来した。そこで，妻の高雨桐が，友人マイクとともに別荘を調べに来て宿泊。不思議で恐ろしい怪異なことが次々に別荘で起こる。高雨桐も精神異常を来たし始める。ホラー作品かと思われるが，最後の数分ほどで，実はすべては人間がやっていたことと分かる。（不動産仲介業者の丁哲が犯人。自分の娘が自動車事故で死んだおり，沈が彼女を救わなかったことを恨んでの犯行。）

中国映画には，超自然的なホラー作品と思えて，最後で人間の犯罪と分かるものが少なくない。今回調査した作品中では，「笔仙惊魂」「笔仙惊魂3」「孤島惊魂」がそうした作品である。（「床下有人」も，ストーリーの初めではホラー作品かと思われる人間の犯罪の話である。）ホラー的性格を売りとしている作であると思うが，合理的な説明で解釈できるので，個人的には，ホラー作品としての怖みが薄れてしまうようにも思われた。今回調査対象になった日本の映画43作品の中に，このようなホラー作品的な犯罪映画は一つもなかった。（アメリカ映画『パラノーマル•アクティビティ』においても，恐ろしい怪異現象は人為によるものではない。つまり，『パラノーマル•アクティビティ』は，犯罪映画の側面はなく，真の意味でのホラー作品である。また，日本においても『パラノーマル•アクティビティ』の日本版が製作されたが，これも米国版と同様，犯罪映画の側面はなく，真の意味でのホラー作品である。この点，『B区32号』は『パラノーマル•アクティビティ』米国版•日本版と根本的に異なり，超自然的な怪異が存在しない。）中国（大陸）のホラー映画は，実は犯罪（や精神異常）などに関わるものであり，幽霊ななどの超自然的な存在が本当に存在するものではない。無神論の立場をとる中国共産党のもとでは，封建的迷信の類は批判の対象となり，審査を行う管轄官庁である広電総局が，幽霊が出るなどといった類の迷信的な内容の作品を認めないということが，その背景にあると思われる。広電総局が2006年に公布した映画基準についての規定（「電影審査規定」（2006年6月22日より施行。2019年12月現在も有効。）には，以下の条項がある。（下線部は筆者によるもの。）

「十三，映画には下記に列挙する内容を載せることを禁止する：（电影片禁止载有下列内容：）……（五）国家の宗教政策に違反し，邪教•<u>迷信を宣揚するもの</u>；（违背国家宗教政策，宣扬邪教，迷信的；）

十四，映画に下記に列挙する内容があれば，削除して修正するべきである：（电影片有下列情形，应删剪修改：）……（四）凶悪な殺人，暴力，恐怖，<u>幽霊や妖怪</u>，<u>霊異</u>などの内容が混じり，真偽•善悪•美醜の価値基準をあべこべにし，正義と非正義の基本的性質を混同させるもの；（夹杂凶杀，

暴力，恐怖，鬼怪，灵异等内容，颠倒真假，善恶，美丑的价值取向，混淆正义与非正义的基本性质；）……（以下省略）」

また，2018年，広電総局の映画・テレビ題材・撮影内容に関する内部文書とされるものがネット上に広まった。広電総局が一般に公表しているものではないので信憑性に問題があるとは思うが，内容的には妥当なもののようにも思われる。ネット上に広がったこの内部文書とされるものに書かれていることついても，一応触れておきたい。(「流传甚广的“广电内部审查新规”，收藏来看」2018年6月18日 www.sohu.com/a/236455159_351788〔来源：第一制片人文/一巷〕)

「三 題材 ……3 科学性を提唱する（提唱科学性）…… ②中国の国情により，また中国共産党が絶対的唯物主義であることにより，映画・ドラマ作品においては，唯心主義を宣伝してはならず，幽霊・妖怪や超自然的な力は，笑いの形式では現れるものの，しかし主流にはなってはならない。……（中国国情决定，以及中国共产党是绝对的唯物主义，影视作品中不可以宣传唯心主义，鬼怪神力以搞笑搞怪的形式出现，但不应该成为主流；）……（以下省略）」

なお，「㉘笔仙惊魂」の項をも参照していただきたい。

28：○ ホラーのようで実は人の犯罪。

㉞ 西风烈（西風烈）

四人の格闘能力に秀でた警官が，ゴビ砂漠の無人地域に赴いて，殺人犯の男及びその恋人の女性を追う。殺人犯は殺人を指示した黒幕の写真を撮っていた。そのため黒幕は証拠を消すために二人の殺し屋を送り，殺人犯を殺そうとする。荒涼としたゴビの無人地域で，三つの勢力が激しく戦う。推理・謎解きなどの要素はない。警官とやくざの戦うアクション映画。

22：△別記殺人犯や殺し屋も主役

㉟ 决战刹马镇（決戦刹馬鎮）

荒涼とした西北の片田舎の村・刹馬鎮には，宝が埋蔵されているという噂があった。国際盗賊団が投資の名目で村にやって来て，村長の唐をはじめ村人を騙しつつ，宝を探す。唐は盗賊団のもくろみを見破り，村人たちとともに盗賊団と戦う。コメディタッチの作品。

㊱ 密室之不可告人

小说《战栗陷阱：密室之别墅疑案》を改編した映画。

「密室之不可〜」は，中国で制作された最初の名探偵推理映画のシリーズ。中国（大陸）の映画に，探偵ものは極めて少ない。この作品においても，国情を反映し，探偵役は，職業としてはプロの探偵ではなく，推理小説作家である。

本格推理としての性格が非常に強い。推理・謎解きを楽しめる。中国に本格推理の映画は極めて少なく，今回調査した中国映画中，「密室之不可〜」シリーズ2作品は，本格推理としての性

格が最も典型的に表れた作品といえる。中国には長らくこのような本格推理映画が欠けており，この作品は中国推理映画の先駆けとしての位置を占める作品と言うことができる。（この作品はまた，これ以前の20年来初の「密室推理」映画でもある。）「《密室之不可告人》首轮角色造型照曝光」（新浪娱乐．2010-09-02）は，以下のように記している。

「国内で20年来最初の密室推理映画として，『密室之不可告人』が打ち出した「『20年来の国内ミステリー推理映画欠如の状況を埋める』という目標スローガンは，すぐさま人々のこの映画に対する期待を生じさせた。監督張番番は，インタビューを受けた際にも，自分は実のところ推理の熱烈なマニアであり，この映画を撮影することは，単なる趣味のみによるものではなく，自分の若い頃の『ナイル殺人事件』『オリエンタル急行殺人事件』などのような推理映画への熱中を伝えるものでもある，と言っている。近年来，推理を題材としたドラマや映画は，すでに国内で幅広い視聴者を有している。例えば，『風声』など多くの映画も，〈ミステリー推理〉の要素を多かれ少なかれその中に取り込んでいる。しかしながら，依然として，日本の推理映画のみが目立つという苦しい現状を変えることはできていない。『密室之不可告人』のようにミステリー推理の看板をもって打って出，正面から〈日本映画風〉に戦いを挑む映画は，これまでの20年間の国産映画史を俯瞰してみても，初の作品である。」（下線は近藤によるものである）

探偵的役柄の推理小説作家柳飛雲が鮮やかに推理する。しかし，警察（警察官）も無能・まぬけな探偵役の引き立て役ではなく，てきぱきと捜査し，推理においても無能ではない。警察を無能でない存在として描いているところは，中国の作品に共通して見られる特徴である。（⑦を参照のこと。）

3・4：○　プロの探偵ではなく，推理小説作家。
7・8：△　プロの探偵ではなく，探偵的役柄の推理作家。
13：◎　警官とともに
25：○　何と4人もの人物が犯人。段新宇は，卓然に登山用具をすり替えられて登山で滑落死したmikeの父であり，子のために卓然に復讐。張恵はもともとmikeの婚約者であり，かつての婚約相手のために，夫である卓然に復讐。また，登山用具検査の係で滑落事件後自殺した女性の兄が林泉，その妻が林梅であり，彼らは林泉の妹のために卓然に復讐。4人がグルになって殺人事件を起こした。なお，目撃者となってしまった料理人の小賈も，口封じのため殺害された。
42：○　小賈は口封じのため殺された。

㊲　黒猫警长（黒猫警長）

児童向け動物アニメ。（動物が登場人物〔？　人ではないが。〕であり，いかにも子供向けといったアニメ。）推理やミステリーではない。

猫警長ら警察・警官は，治安を守り被害者を救う頼もしい存在。有能。

善悪の区別が明確。警察が犯罪者（悪人〔動物だが。〕）を捕え懲らしめる。

理想化された警察・警官を描く点，いかにも中国の作品らしい。子供向け作品のため教育的効

果を考えてか，それがとりわけ徹底している。

社会として，あるいは中国政府・中国共産党として子供たちをどう育てようと思っているのかが明確に見て取れる啓蒙的・教育的色彩の強いアニメであると言うことができる。日本のアニメに，ここまで教育的効能を重んじたアニメはないと思われる。

テーマソングについても，⑳と同じことが言える。

41：○（食料強盗）

とりあえず今回，中国映画についての調査結果を掲載した。ページ数上の制限があるため，次回及びその次の回で，今回中国映画について行ったのと同様，日本映画43本の表を作成し，それを中国映画の表と比較し，それによって日中の犯罪関連映画を比較する予定である。

注

1） 第9回〈第9届・2014年〉以降の「外国作家榜」（中国内地における外国作家の主要作品印税収入合計額のランキング。http://zuojiabang.cn/Rangking）では，東野圭吾は毎回2位以上であり，第11回2016年・第12回2017年・第13回2018年（最新）においては首位である。また，作家ランキングのうち外国人作家のランキングが始まった第5回（第5届）2010年以降，毎回10位以内に入っている。
2） 内地电影票房总排行榜（58921.com/alltime/）による。
3） PRiVATE LiFE エンタメデータ＆ランキング（https://entamedata.web.fc2.com/movie/movie）による。
4） https://baike.baidu.com/tashuo/browse/content?id=5bb6134ffe2b14d8d14f1d12&lemmaId=9328588&lemmaId=9328588&fr=qingtian
5） 在电影筹划初期，李骏就对编剧丁小洋提出了一个明确要求：做一部纯粹的好莱坞式的类型电影。以往中国拍犯罪片总要去讲罪犯的情怀或者追溯人性，但在李骏看来，罪犯应该是高智商担当，有过硬的逻辑才是类型片的基本。
6） 在李骏印象中，第一稿剧本完成还算顺利，但爆炸案发生在国内，心理医生的角色是菜鸟女警察这种“政治不正确”的设定没有过审，改了一稿依旧没通过，不知不觉就拖到了2014年，而《100分钟》也变成了《逆转之日》。